

児童発達支援自己評価 結果報告 (令和4年 3月公表)

児童発達支援 ところ園

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境 体制 整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25%	50%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・基準は満たしても適切とは言い難い。この経験を活かし、移設先の構造を考えていく。 ・子どもや職員が増えたため全員で身体を動かす活動を行うのは難しくなった。外の土山・三輪児童館・川沿い・田んぼ道を利用し、身体をたくさん動かしている。 ・スペース的にはギリギリではあるが外の土山も利用している。 ・少人数のグループに分かれたり戸外活動として屋外も使う事でうまくスペースを使っている。
	2	職員の配置や専門性は適切であるか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・療育現場の人員配置は子ども2に対して職員1以上の配置を行い、クラス制を取り入れる事でより専門性を活かしていけるよう工夫している。 ・職員の配置は常勤職員が以前より療育現場へ出られるようになったため、子どもと関わる時間が増えた。保育士や子育て経験者が多いが、支援の専門性となると弱さを感じるところもある。非常勤職員も研修の機会を設ける事が出来たらより良いと思う。 ・非常勤職員にも子どもの人数に合わせて出勤してもらっている。 ・常勤職員は全員有資格者であり、非常勤職員も有資格者が配置されている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性や必要に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50%	25%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化に関しては職員の工夫により何をどこにどうすれば良いか等が子ども目線で分かりやすくなっている。バリアフリーに関しては毎年同じ回答をしているが、傾斜が急で狭い階段がとて良くないものとなっている。情報伝達に関しては日々の申し送り時に伝え漏れのないよう努めているが、ミスもあり保護者の方々には温かく見守っていただいている。また、必要に応じてお手紙等でのやり取りをさせていただいている。 ・都度気づいた事、意見があった事を改善している。玄関の場所が変わった時に靴を脱ぐ場所をマットで示す・不要な物が見えていたので布で目隠しをした。変更点は情報共有をしている。 ・カードを使って視覚化している。階段はあるが職員が付き添い登り降りしている。 ・靴下入れやお仕度場等、視覚的に分かりやすいように工夫がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・就業後には高濃度オゾンによる隅々までの除菌を行い清潔を保っている。床の隅や普段行き届かない箇所の掃除について、もう少し行き届けられるよう工夫をしていく必要がある。 ・消毒・除菌・掃除は毎日行っている。掃除は行き届かない場所が多々ある。気づいた時には掃除をするが追いつかないことも事実。掃除する場所を明確にし、1日一箇所を目標に行き届かない場所の掃除をしていく。

					<ul style="list-style-type: none"> ・電解水を使用している。またオゾン発生装置も設置している。 ・部屋の清掃、使用済みおもちゃ等を電解水やアルコール・オゾン発生装置等を使い、清潔な空間を保っている。 	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・現場リーダーと管理者が打ち合わせを繰り返し、新たな業務改善の計画を立て、他職員からの意見と情報を収集しながら改善を繰り返すサイクルに努めているが、情報収集をより行う必要あり。 ・振り返りに常勤職員しか参加出来ないため非常勤職員からの意見や子どもとの関わりを見て振り返りの時間に話せるようにしている。 ・ヒヤリハットを毎週職員会議で出して状況説明をし、改善を繰り返している。 ・事務作業の軽減のために活動計画書の書き方の改定等がされた。 	
	6	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつであったり、可能な範囲ではあるが、一つひとつ全てに対して真摯に向き合い、改善に向かっている。とても有難いものである。 ・保護者の方より頂いた意見を基に管理者から一つずつ説明があり、気を付けていく所を再確認する事が出来た。 ・職員会議で共有し改善に繋げている。 ・保護者アンケートを実施し、職員会議で保護者の意向を共有し合い業務改善に繋げている。 	
	7	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者からも意見が頂けるよう実施時期を年度後半に行い、次年度に向けた改善に繋げている。 ・ホームページにも掲載し、必要に応じて書面でもお渡ししている。 ・ホームページ等で公開したり、書面として保護者に配布している。 	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか			100%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方や関係機関等の外部の方を随時お招きする事で風通しの良い運営を心掛けている。第三者評価機関の利用は検討中で遅れてしまっているが、来年度には実施にうつりたい。 ・来年度は取り組みたいと聞いていたが遅れている様子。 ・取り組みを進めている途中である。 ・現在は第三者による外部評価を受けていないため今後評価を受け、業務改善に繋げていければと思う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・各キャリア別に年間で計画立てを行い、法人内研修・外部研修共に多くの時間を当てる事が出来ている。研修受講者は報告書を作成し、会議等で報告会を実施しているが、外部研修のみに焦点が当たっていたため、法人内研修に関しても報告書と報告会を実施していく。 ・常勤職員は法人内研修・外部研修と参加させて頂いている。非常勤職員の参加は集えていない。事業所に非常勤職員が多いので参加が出来ると良いと思う。参加の有無は別として、研修の案内があると、こういうのがあるのだと知る事が出来る。 ・定期的に研修の機会を設けて下さっている。 	

					<ul style="list-style-type: none"> ・年間で研修の予定が組まれており、順番に研修に行く事が出来ている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により保護者面談時期がズレている二年間となっているため、以前のように適切な時期に実施できる（必要な時期に行える）ようにしていきたい。 ・管理者が作成して下さっている。 ・契約時に管理者がアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題にあった個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールを使用しているが、全職員がアセスメントしている（使用している）訳ではない。子どもの担当職員が自らアセスメントしていく事ができるよう指導育成をしていく必要あり。 ・アセスメントを共用して使用している。 ・その子に合わせたアセスメントツールを使っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援である「発達支援」の項目が多くを占めているため、家族支援の項目の内容を増やしていけると尚良い。 ・設定されている。 ・児童発達支援ガイドラインに示す支援内容から具体的に分かりやすい支援内容が設定されている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー進行による一日の振り返りで、リーダーが支援計画の内容に沿ったものになっているかを確認、助言しながら行う事が出来ている。可能（時間の捻出）であれば支援会議を増やし、議論し合う時間を作っていきたい。 ・個別支援計画に沿って活動プログラムを考えている。他職員の立案理由を知る機会があると良い。個別活動は振り返りの時に個別支援計画に沿って話をしていたが、集団活動はしていなかったため、集団活動も個別支援計画に沿って話をしていく。 ・個別支援計画に沿って支援出来るよう努めている。 ・個別支援計画に沿った活動プログラムを設定し、その子に沿った関わり方を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・担任制を取り入れ、一日のコマを担任が設定し、その他のコマは皆で起案している。 ・活動プログラムに沿って活動し、問題が起きた所をチームで話し合い、次はどうしたらいいかを決めている。 ・週変わりでリーダーを変更し、活動プログラムを起案している。今後は職員会議等で皆で話し合って考えていければ尚良い。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・この曜日はこの活動というような固定的活動プログラムは組んでおらず、一日一日の起案を都度行っている。一度行った事で身に付くスキルは多くなく、一週間や 	

適切な支援の提供

					<p>二週間程度の継続により身についていく（上手になっていく）ため、一度始めた新しい活動は数回実施するものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日起案しているため固定化はしていない。 ・日々活動が変わるようにプログラムを設定し同じ内容でもやり方を変える等工夫している。
16	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画そのものは、その子一人ひとりに対応したものとなっているため、集団活動と個別活動の割合はそれぞれとなっているが、発達段階から必要に応じた活動を取り入れている。 ・原案を管理者が作成して下さっている。 ・個別活動と集団活動が組み合わせられて個別支援計画が作成されている。
17	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングは全ての職員が行えるよう、それぞれの勤務時間に対応させ複数回の打ち合わせを行っている。 ・変更点があった時に全職員に変更点を伝える事が難しい。全職員に伝える事の必要性を考え取り組んでいく。 ・皆でより深い話をしていきたい。 ・支援開始前に必ず職員間でミーティングを行い、支援内容や役割分担、その他必要な情報共有を行っている。
18	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・13で述べた通り行う事ができているが、他職員の気づき等についての意見がもっとたくさん出てくるものにしていきたい。 ・気づいた点での共有が難しい。療育現場を見ている時は子ども・職員の様子が分かり気づいた点の共有・改善が出来る。話だけだとその職員からの視点の話だけになり、他の職員からの話と相違する事がある。相違があると改善策も変わってくるので正しく伝えてもらえるよう具体的に質問をしていく。 ・毎日ミーティングの中で共有している。 ・支援終了後には職員間で支援の振り返り、気づいた点、改善点を共有している。決まり事として決まったものは非常勤職員へも漏らさぬよう共有を図っている。
19	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善につなげているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録の様式を少しでも書きやすく、必要な内容を書き漏らさないよう改善しているため、これについても評価を取り、より良いものを作っていく。 ・日々の振り返りで検証・改善は行えている。記録を見返す事はあるが、記録から検証・改善に繋がっていませんので記録を見返した時に検証・改善が必要な所を選び、話し合いをしていく。 ・努力している。 ・現場が担任制に変更になったので、子ども達の日々の様子の変化等以前より記録がとりやすく検証や改善にも繋げやすくなった。
20	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・最低ライン（半年に一度）で行っているため、必要に応じた頻度で行えるよう努める。 ・管理者がモニタリングをし判断して下さっている。 ・水分量やトイレトレーニング等日々状況が変化した

					ものはモニタリングを行い、支援の方法を見直している。	
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・健診に同伴させていただいている。保健師の方とも必要に応じて連絡を取らせて頂き、情報共有や健診から漏れてしまった子に対しての対応など協力をいただいている。 ・管理者が行っている。 ・保健センター等関係機関との関わりを持っている。 	
	22	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は管理者とリーダーが参加させて頂いているが、担任制になったため今後は各担任が参加できるよう育成を図っていく。 ・今後担任の人が行けると良いと思う。 ・担任制となったので今後はよりその子どもの状況に精通した者が参加できるようにしていく。 	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が多い場合、会議開催日程の調整が難しく、こちらの都合がつけられないこともあるが、その場合は議題に沿った書面での共有を取らせていただいている。 ・機会があれば行っている。 ・保育所や幼稚園に移行支援として支援内容等の情報共有を図っている。 	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・上記設問（23）と同様 	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所から共有の連絡を頂いたり、相談をさせて頂いたりしているが、数は多く行っていない。より積極的に行っていく必要がある。 ・センターとはあまりしていない。 ・子どもが他事業所を利用している場合等、支援方法の情報共有を図っている。今後はもっと些細な事でも連携を図っていければと思う。 	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでも回答をさせていただいたが、より保育園等との連携と関係を深め、園庭開放を利用して頂く等の新たな活動案を考えていく。 ・児童館、公園に行った折には交流はあるがそれ以外では行っていない。卒園が決まっている子は保育園での交流をしている。 ・現在は公園等の戸外活動で障がいの無い子と関わる機会がある。今後は保育所等の園庭開放等で交流の機会が持てればと思う。
	27	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参加させていただいている。 ・会議があれば参加している。 	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りのわずかな時間ではあるが、状況に応じた対応やアイデアのお話をさせていただき、その後の聞き取りも行い、その都度共に考えることを行わせて頂いている。 ・送迎先が決まっていて、会えない保護者の方もおり、他職員を通してのみの情報共有となっている。実際会ってお話することとは違う点もあり、誰もがお会い出来るよう送迎の組み方を考えていきたい。 ・送迎や参観日等で伝え、職員間でも共通理解を持つ 	

					<p>よう心掛けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時等で、日頃から保護者の方と子どもについての情報共有を行ったり、困り事のお話を聞かせていただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り多くの方が受講しやすいよう同じ内容の研修会を複数回開催させて頂いている。 ・家庭での困り事や支援の仕方等、保護者の方に親身になって行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には利用契約時に利用に対する重要事項の説明を行わせて頂き、契約前に出来る限り体験に来て頂き支援の概要説明をさせて頂いている。
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにより面談実施時期がズレてしまっているが、年に2回の面談を行わせていただいている。 ・定期面談の時に同意を得ている。 ・定期面談で保護者の方に現在の子ども様子を伝え、今後の支援内容の説明を行い、支援計画の同意を得ている。
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様が発信しやすい仕組みづくりをしていけるとより良い。例えば、期間を決めて皆様に向けて「最近のご様子を伺う手紙」を出させて頂く等。 ・いただいたお手紙に対して、返事の記載漏れを起こしてしまうことがある。書いてくださったものへ返事の漏れが無いよう努めていく。 ・子育ての悩みや支援の方法、支援ツールについてなど具体的に分かりやすく努めている
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・親の会運営をお手伝いさせて頂いている。法人全体の任意団体である親の会以外にも、ところ園利用の保護者同士の横の繋がりが持てるよう保護者参観日を適宜開催しているが、コロナの関係や建物の都合上、一度に多人数の受入れが出来ず、今年度の到達目標を叶える事が出来なかった。引き続き取り組みを続けると共に、移設が叶った際には新たな発想を持って取り組んでいきたい。 ・親の会を行っている。 ・定期的に親の会や保護者参観日等保護者の方が交流できる機会を設けている。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際の対応についてのご説明は契約時に行っているが、保護者の方の時間の都合上、簡単な説明で割愛気味になってしまう部分でもある。苦情を対象の事業所宛に申し出ることが難しい点を踏まえ、行政機関が受け付けてくれる事とその受付先のお伝えはさせて頂いている。今後も保護者の方が教えて下さる申し出に対して真摯に対応させて頂く事と、何でも申し出る事が出来る（しやすい）事業所づくりを心掛けていく。 ・子どもの怪我に職員が気づけず、子どもが帰宅後、保護者の方より一報いただくことがあった。その後（就業後）、迅速に全職員から事実確認を行うことは難しいことだが、大事な事であるため、子どもの怪我には十分注意を払うことはもちろんのこと、全関係者（その日の勤務者）からの事実確認作業を行い、保護者の方へ返すことをしていく。

保護者への説明責任等					<ul style="list-style-type: none"> ・即対応して下さっている。 ・苦情等があった場合は迅速に情報共有を図り適切に対応している。
	35	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が創意工夫したお便りを発行させて頂いている。今後はお便りを有効活用した「マニュアル等についてのお知らせ」や「コロナに関するお知らせ」等、新たな内容を盛り込んだ情報発信ツールとしての機能を向上させていきたい。 ・年間予定や毎月お便りを作成している。 ・月に1回お便りを発行し、行事予定や活動の様子を写真等を使って分かりやすく発信している。
	36	個人情報に十分注意しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務誓約を全職員がかわし、振り返りの意味を込めて年度での更新を行っている。 ・今後も個人情報の取り扱いについては十分に注意をしていく。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に連絡ができるようLINEやショートメールを活用させて頂いているが、チェックが遅れてご迷惑をお掛けする事もある。 ・コミュニケーションを心掛けている。 ・ゆっくり話すや相手の立場に立って分かりやすく情報伝達出来るように心掛けていく。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%		75%
非常時の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・この項目を「お便りを活用した情報発信」が出来るようになる方が良い。 ・以前は非常勤職員を含めたマニュアルについての勉強会があったが、今は行えていない ・定期的に避難訓練をしている。 ・防災訓練においては定期的に訓練が行われている。その他マニュアルに対してもしっかり確認を行ってきたい。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行いお便りにて発信している。子どもと共に大切だが、職員による訓練が行えていないため、今後の課題と捉える。 ・火災・地震においては定期的に避難訓練を行っている。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて医師の指示書をいただき対応させていただいている。 ・てんかんがある子等は職員間で情報共有を図り、実際にてんかんが起きた場合の対応の仕方も周知されている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の聞き取りや給食、おやつ等の持ち込みを柔軟に対応させて頂いているが、除去対象児に対してこちらから適切なものを提供することは難しい。 ・現在アレルギー（除去対象）の子はいない。

非常時の対応					<ul style="list-style-type: none"> ・現在、食物アレルギーの子は居ないが、今後いらっしゃる場合は医師の指示書に基づき職員間で情報共有を図っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・週1枚のヒヤリハットを作成し、職員会議にて共有と今後の対策検討を行っている。 ・ヒヤリハットで改善点があった場合は共有している。改善点が無い場合はファイルへ入れてしまうので非常勤職員へ伝わっていない。ヒヤリハット報告があった場合は、ファイルを見てもらい共有する。 ・毎週会議で行っている。 ・週1回ヒヤリハットを出し、職員会議で改善策を検討、改善を行っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修を受講している事と、来年度からは法人内研修で扱えるものとするため、虐待防止委員会を発足し、研修担当者を配置した。 ・今年度、虐待の研修を受けた。全職員が受けれているかはわからないが、受けた職員が共有していく必要がある。 ・交代で虐待防止の研修に参加、また参加した人は会議で研修内容の共有を図る。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	50%	25%	25